

	申請者氏名	中村翔太
論文名	Investigation of the tricritical point of the ising ferromagnet URhGe by angle-resolved measurements	
国際会議名	ICM2018	
開催地	San Francisco	
参加期日	2018年7月15日-2018年7月21日	
<b>参加目的：</b> 今回参加した ICM2018 は磁性分野の国際会議の中でも最大級の規模のものであり、私は最先端の磁性に関する研究の情報収集と私の研究成果を発表する絶好の機会だと考えて、この会議への参加をした。		
<b>会議の状況：</b> サンフランシスコで 2018 年 7 月 15 日 - 2018 年 7 月 20 日の 6 日間、ICM2018 が開催された。参加人数は約 1900 人、口頭発表約 600 件とポスター発表約 1300 件と、非常に規模の大きな会議であった。会議はパラレルセッションで行われ、基礎研究から応用研究までの幅広い内容の発表と議論がなされていた。		
<b>成果概要：</b> 私は、磁性と超伝導の研究分野を中心に情報収集を行った。世界から見た時の自分の研究の立ち位置を確認するとともに、今後の研究を進めるうえで必要な情報を集めることができた。本会議では、前述の研究分野だけでなく磁性にかかわる幅広い発表と活発な議論が行われており、その内容には興味深いものが多く含まれていた。 また、私は URhGe の 3 次元相図における Wing 構造と 3 重臨界点を磁場角度回転測定から詳細に決定したので、その成果を発表した。私の口頭発表には強磁性超電導の国内外の研究者が多く訪れ、その結果を情報共有できた。 今回、このような有意義な会議への参加の援助をいただいた湯川記念財団望月基金に心より感謝申し上げます。		